

岩 間 陽 子 教 授

Academic Year 2017 (2017.4.1~2018.3.31)

専門分野：国際政治、欧州安全保障

学 位：博士（法学）、京都大学

略 歴：1986年 京都大学法学部卒

1988年 同大学院修士課程修了

1994年 同大学院博士後期課程、助手等を経て

1998-2000年 在ドイツ日本国大使館専門調査員

2000年 本学助教授

2007年 本学准教授

2009年 本学教授

1. 業 績 (A)

(1) 雑誌論文（単著）

- * 岩間陽子「コール独首相の遺産——EUはどこへ向かうのか。」『潮』2017年9月号 pp.40-45.

(2) 学会発表

- * 5月10日（土）日本防衛学会平成29年度（春季）研究大会・公開シンポジウム『激動の欧州』報告「ドイツ新政権にEUは支えられるか」
- * 2017年度日本政治学会研究大会分科会 A-2 核不拡散体制の再考、企画、司会。
- * 10月28日（土）日本国際政治学会 2017 研究大会・共通論題「デモクラシーと世界秩序」（パネル・ディスカッション）司会
- * 10月29日（日）日本国政政治学会 2017 研究大会、分科会セッション D-1 欧州国際政治史・欧州研究 I における討論者を務める。

2. 業 績 (B)

(1) 書評・解説

- * 毎日新聞 5月7日（日）朝刊 『帝国日本の外交 1894-1922 なぜ版図は拡大したのか』佐々木雄一・著（東京大学出版会、2017）書評、「三つの戦争と講和の指導原理を問う」
- * 毎日新聞 6月11日（日）朝刊 13面小井土彰宏編（名古屋大学出版会、2017）『移民受入の国際社会学—選別メカニズムの比較分析』書評「経済競争をもたらす概念の多層化」
- * 毎日新聞 2017年8月13日朝刊 イアン・ジャブロンカ『私にはいなかった祖父母の歴史』（名古屋大学出版会、2017）書評、「愛の書であり、祈りの書である」
- * 毎日新聞 2017年9月24日（日）朝刊 スコット・セーガン／ケネス・ウォルツ著、斉藤剛訳『核兵器の拡散：終わりなき論争』（勁草書房、2017年）書評「保有国増加は是非か」
- * 毎日新聞 2017年11月5日（日）朝刊 石野裕子・著『物語 フィンランドの歴史』（中公新書、2017）書評「大国の隣で生きる戦略」

- * 毎日新聞 2018年1月14日(日)朝刊 古川勝久『北朝鮮 核の資金源 「国連捜査」秘録』(新潮社、2017) 書評「浮かび上がるネガポジ反転の国際社会像」
- * 毎日新聞 2018年3月4日朝刊 寺田知太、上田恵陶奈、岸浩稔、森井愛子・著『誰が日本の労働力を支えるのか』(東洋経済新報社、2017) 書評「外国人か AI・ロボットか」等

岡崎研究所情報分析 (以下 12 本)

- * 2017年5月17日(水) 170514-2 独ノルトライン=ウェストファーレン州議会選挙・ヴァーゲナー
- * 2017年6月2日(金) 170530-3 メルケル発言と「アメリカ後の欧州」・シュルツ
- * 2017年6月5日(月) 170528-2 世界で波紋を呼ぶメルケルの発言・エコノミスト
- * 2017年8月31日(木) 170823-4 ロシアの対 NATO 軍事演習・ヘミッカー
- * 2017年9月20日(木) 170914-1 独総選挙後の「ジャマイカ連立」の可能性・チェイス
- * 2017年9月27日(水) 170926-1 ドイツ連邦議会選挙・WSJ と FT
- * 2017年9月28日(木) 170926-2 マクロンのソルボンヌ演説とドイツの連立交渉・マッジ
- * 2017年11月24日(金) 171121-1 メルケルの躓きは欧州を弱める・ラックマン
- * 2017年11月27日(月) 171123-1 手詰まり状態のドイツ政治・エコノミスト
- * 2018年1月15日(月) 180112-1 ドイツの連立交渉進展・チャザン
- * 2018年2月13日(火) 180210-1 独大連立政権の再登場・エコノミスト
- * 2018年3月7日(水) 180305-1 大連立政権成立の見込みについて・アウグシュタイン

3. 助成金等による研究

科研費基盤 (A) 「核不拡散体制の成立と安全保障政策の再定義」公開研究会

- * 2017年6月3日(土) 15:00~17:30 報告者 相田守輝 (筑波大学)
「核常兼備」の解明から見える中国の核抑止~人民解放軍軍人の「欺瞞」と「牽制」~
コメンテーター 浅野亮 (同志社大学法学部)
- * 2017年7月8日(土) 15:00~17:30 報告者 菊地茂雄 (防衛省防衛研究所)
「ソ連軍事戦略における核兵器の役割 —核兵器の導入から新冷戦まで—」
- * 2017年10月14日(土) 15:30~17:30 報告者 劉仙姫 (帝塚山大学法学部)
「韓国における NPT 加盟と核開発への試み」
- * 2017年11月11日(土) 15:00~17:30 報告者 合六強 (二松學舎大学)
「西ドイツの NPT 署名問題と米国の対応」
- * 2018年2月10日(土) 15:30~17:30 報告者 道下 徳成 (政策研究大学院大学)
「冷戦期の「海洋戦略」における核兵器の役割—太平洋戦域を中心に」
- * 2018年3月10日(土) 15:30~17:30 報告者 Reopoldo Nuti (ローマ大学)
"The Nuclear Challenge. Italian Foreign Policy and Atomic Weapons, 1945-1991"

4. 教 育

(1) 講 義

- * Advanced International Relations in Europe (Spring)
- * International Relations (Fall)

(2) 論文指導

- * 戦略研究プログラム：修士課程 1 名 (副指導) ※学位取得

- * Young Leaders Program (School of Government) : 修士課程 1 名 (主指導) ※学位取得
- * 安全保障・国際問題プログラム : 博士課程 8 名 (主指導 3 名、副指導 5 名 (うち 2 名学位取得))

5. 管理・運営への関与

委員会

- * YLP プログラム委員会
- * SISP プログラム委員会
- * MSP プログラム委員会
- * 図書館委員会

6. 社会的貢献 (A)

(1) 国および地方公共団体における活動

- ① 審査会等
 - * 法制審議会総会委員
- ② その他
 - * 新防衛政策懇談会委員

(2) 他大学・研究所等における活動

- * 財団法人平和・安全保障研究所研究員

(3) 学会等における活動

- ① 役員, 委員
 - * 国際安全保障学会監事
 - * 日本防衛学会理事
- ② その他
 - * 日本国際政治学会会員
 - * 日本政治学会会員
 - * 日本 EU 学会会員

7. 社会的貢献 (B)

(1) ジャーナリズムを通じた発言

① 印刷メディア (新聞, 雑誌等)

産経新聞 2017 年 11 月 22 日朝刊国際面コメント『独大統領、政権樹立へ仲介：再選挙回避目指し連立促す』『メルケル氏に党内から不満』(7 面)

② 電波メディア (テレビ, ラジオ等)

2017 年 9 月 10 日 (日)「たけしのTVタックル」「ニュークリア・シェアリング」の解説。

③ その他 (ウェブ媒体等)

私の好きな中公新書 3 冊 2017 年 10 月 5 日 林健太郎『ワイマル共和国 ヒトラーを出現させたもの』・阿部謹也『刑吏の社会史 中世ヨーロッパの庶民生活』・マーク・マゾワー『バルカン—「ヨーロッパの火薬庫」の歴史』

* <http://www.chuko.co.jp/shinsho/portal/102882.html>

(2) 講演会, 座談会, 会議出席

- * 2017年5月13日 (財) 平和・安全保障研究所 春期公開シンポジウム「激動する東アジアとトランプ外交」第2部コメンテーター
- * 2017年6月30日 鹿島平和研究所 安全保障外交政策研究会「欧州政治情勢の展開と日本外交への示唆」コメンテーター
- * 2017年7月19日 GRIPS/SISP セミナー"Turkish domestic politics and foreign policy after the 2017 referendum"の司会 (講師 今井宏平氏)
- * 2017年11月17—19日 Halifax International Security Forum 2017 出席
- * 2017年12月10日 朝日カルチャーセンター (新宿) 講演「国際秩序の行方 2017—18 揺れ動く世界と日本」欧州・イギリスについて
- * 2017年12月9日 第12回陸上自衛隊フォーラム参加 (陸上自衛隊仙台駐屯地)
- * 2018年2月13日 「PHP・岡崎研究所の会」講演「最近の欧州情勢について」
- * 2018年2月15日 「三菱・岡崎研究所の会」講演「最近の欧州情勢について」
- * 2018年2月27日 215th Institute for Peace Science Research Seminar / 389th IDEC Seminar (Joint Seminar)講演 “Nuclear Weapons and International Relations in Europe”